



今月のお知らせ



健康サロン

日時：4月 7日（火）、21日（火）
13時00分～
場所：さわやか人権文化センター
内容：健康マージャン
～賭けない・飲まない・吸わないをモットーに
仲間づくり・健康づくりを実現しましょう～
初心者歓迎します

ペン習字教室

日時：4月20日（月）13時30分～
場所：さわやか人権文化センター
内容：「絵手紙」「実用的な書」
～いつでも、どこでも、
誰でも、楽しめること～

お知らせ

個人の時間に合わせて楽しむことができるように下記を準備しています。

- 囲碁、将棋各1セット
仲間同士の対局、棋譜の検討などに
- シアターセット（DVDのみ対応）
普段とは違うサウンドで楽しんでみませんか？
（DVDはご持参お願いします）

感染症や気象状況によっては、事業を変更または中止する場合があります。ご了承ください。

みんなの楽級

日時：4月9日（木）13時30分～
場所：さわやか人権文化センター
内容：ゴキブリ団子づくりと
生活改善室の掃除

参加費：100円（当日集金します）
参加申込：4月6日（月）までに
さわやか人権文化センターへ
ご連絡ください。
電話：28-2017

害虫のいない、快適な生活にむけて団子づくりに参加しませんか。



昨年のゴキブリ団子づくり

職員の異動

4月1日より次のとおりの職員体制になりました。よろしくお願いたします。

所長 上口 俊一
指導員 牧野 修
指導員 森 愛
(はばたき人権文化センターより)

【異動】
指導員 梅谷 友美
(倉吉市人権文化センターへ)



地域のみなさまには大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

困りごとはありませんか？ 人権が侵害されていませんか？

悩みごと・生活に困っていることがありましたら、どんなことでも、1人で抱えこまずにご相談ください。

倉吉市 人権政策課
さわやか人権文化センター

差別落書きや差別発言などに遭遇されましたら、倉吉市人権政策課もしくは人権文化センターにご相談ください。

電話 22-8130
電話/FAX 28-2017

さわやか人権文化センターだより

さわやか

センターだより「さわやか」に関するご意見・ご要望をおよせください。

2026年4月1日発行 No.378
【発行所】さわやか人権文化センター
【所在地】〒682-0602
倉吉市上米積 1074-1
【電話兼ファックス】0858-28-2017
【メールアドレス】sawayaka@ncn-k.net

「誰もが大切にされる地域社会」をめざして！

人権文化センターは、誰もが大切にされ、住みやすい地域社会の実現をめざして、さまざまな事業を行っています。

お気軽に さわやか人権文化センターへお立ち寄りください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



さわやか人権文化センター 職員一同

人権啓発の推進

差別や偏見のない、誰もが安心して暮らすことのできる住みよい地域づくりにむけて、講演会や講座の開催、館報「さわやか」の発行等を行います。

さわやか人権文化センター 事業の柱

相談事業

相談者の悩みをお聴きし、関係機関などの紹介や問題解決に向けて、一緒に考えます。

交流事業

地域や世代を越えた交流の輪の広がりに努め、多くの人たちが活動できる住民交流の拠点をめざしています。
・住民サロン、講座の開催
・保育園交流 他

今年度の主な事業予定

- みんなの楽級
(人権学習、各種教室、視察研修 ほか)
- 健康サロン（健康マージャン）
- ペン習字教室
- ゆとり教室
- 子ども育成（保育園交流）
- 高齢者教室…10月予定
- 小・中学生育成（地区学習会）
- 町内学習会への協力
- さわやか人権フェスティバル
- 館報「さわやか」の発行

※気象条件、感染症等の状況により開催できない場合もあります。

みんなの楽級 1年間を振り返る会

～ 楽しい楽級をめざしたい～

3月18日に、2025年度の振り返りと2026年度の事業計画について話し合いました。

2026年度事業計画の検討では、昔の遊びの話題になると、おはじきやお手玉遊び、昔の生活道具、ぞうりやミノなどワラで作った生活用品の話で盛り上がりました。

また、「みんなの楽級定例会のほかに、定期的集まることがあってもよいのでは」などの意見も出ました。



2026年度事業について話し合いました

昨年度のみんなの楽級の様子



事業計画で出された意見

- ・ゴキブリ団子づくり
- ・健康チェック、健康教室
- ・他の機関との連携
- ・作品づくり
- ・人権学習
- ・保育園児との交流
(昔遊びなど)
- ・ガーデニング
- ・視察研修

自分らしく生きる 多様性が尊重される社会を目指して

最近、多様性（ダイバーシティ）という言葉をよく耳にしますが、あなたはどんなイメージを持っていますか。私たちの暮らす社会は、性別や国籍、年齢、障がいの有無、価値観などが異なった人で構成されています。今回は、なぜ多様性を尊重する社会が大事なのかについて考えてみたいと思います。

詩人 金子みすゞの詩から

昭和初期に活躍した詩人 金子みすゞの「私と小鳥と鈴と」という有名な詩があります。この詩は、百年という時を超えた今でも、多様性を尊重する言葉として心に刻まれています。

「私と小鳥と鈴と」

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を速くは走れない。
私がからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。
鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

最後の言葉「みんなちがってみんないい」は大事な意味を持っています。「あなたはあなたでいい」と存在そのものが素晴らしい、それぞれに役割と価値があると話しかけているようです。

多様性が尊重される社会のメリット

例えば、多様な人がいればいるほど意見も多くなり、お互いが通じ合うための労力や時間はかかります。しかし、お互いの多様性が尊重される社会では、次のようなメリットが考えられます。

- 多様な人がいると「そんな考えや発想はなかった」と別の見方が生まれる。
- 「誰かの得意」が組み合わせることで、組織や地域社会に大きなメリットになる。
- 「普通」や「当たり前」と決めつけないことで、生きづらさを感じる人が減り、安心することができる。
- 周りに違う人がいるからこそ、「自分は自分でいい」と自分を肯定できるようになる。

倉吉市の取り組み 4月からジェンダーレス制服に

倉吉市内の中学校では、性別に関わらない制服「ジェンダーレス制服」の導入が新1年生から始まりました。市内5つの中学校の統一された制服は、上着がブレザーに変わり、スラックスとスカート、リボンやネクタイを性別問わずに選択できるようになります。「性別で制服が決まる」のではなく、「自分の好きなスタイルを選べる」ようになり、多様な中学生が自分らしく学校生活を送ることができます。



多様性が尊重される社会に向けて

多様性が尊重される社会は「言うは易く行うは難し」です。ありのままを認め合う社会は、お互いの人権が尊重されることがベースとなり、一朝一夕に実現するものではありません。

しかし、私たち一人ひとりが、地域や職場など日常生活の中で、違いを理由に攻撃や排除をせず、「ありのままを受け入れる」「誰かの人権を傷つけていないか」と考え行動することが、多様性に向き合い、自分や社会の多様性について考えるきっかけになるのではないのでしょうか。

高城地区学習会運営協議会を開催しました

3月5日に2025年度の小学校の地区学習会について、参加児童の保護者代表、学校、関係する機関等が集まり、保護者や関係機関から寄せられた振り返りをもとに、次年度の学習会実施について話し合いました。

振り返りに寄せられた声（一部）

- ・地域の方から聞いた話を、「昔はこうだった」など、私が知らなかったことなども話してくれた。
- ・仲間づくりを高めるために、レクリエーションを含めた学習を取り入れたら楽しい気持ちでいけるのかなと思う。
- ・一番大切なのは保護者の思い。最後の会で保護者が一言ずつ話されたのがよかったと思う。



5回目の学習会。子どもと保護者がいっしょに意見交換しました

協議会で出された意見（一部）

- 他地区の状況を知りたい。他地区で学習会を進めている方と、学習内容や資料等の情報交換ができるような研修機会を設けたらどうか。
- 学習内容や資料の作成についての打ち合わせを持つとよい。
- 「なぜ学習会が必要なのか」の研修を行う。（小学校、児童センター）